

船橋 YMCA 通信



No. 99 2017年11月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



チャリティーラン開催

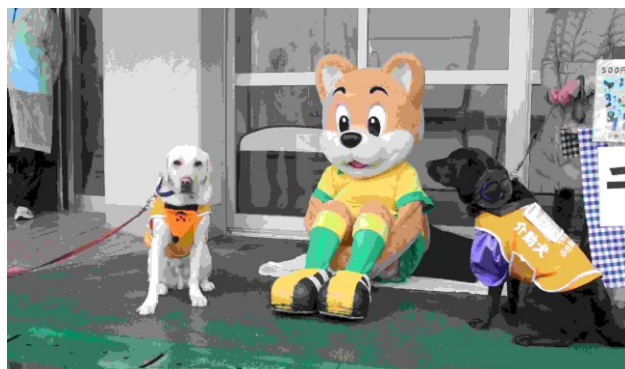
第20回千葉YMCAインターナショナル・チャリティーラン2017は、10月21日(土)に夏見台にある船橋市運動公園の特設コースで、小雨降るなか開催されました。



《小雨の降るなかランのスタートです》

今年の開会式には、ジェフユナイテッド市原・千葉のマスコット「ユニティ」は駆けつけてくれましたが、チーバくんは雨に濡れるとまずいとのことでの不参加でした。

今年の大会には20チームが参加して、そのうち19チームが陸上競技場の外をまわる1.6kmの特設コースを、1チームが競技場のトラックを2周するコースを6人でたすきリレーしながら走りました。一人ですきリレーの特設コースを6周走るマラソンには、1名の参加でした。



《ユニティと介助犬》

今年は、千葉介助犬協会から2頭の介助犬が参加して、介助犬のPRをしました。皆さんは、盲導犬をご存知だと思いますが、介助犬とは何をすする犬なのか調べて見て下さい。



《大会終了後参加者全員で記念撮影をスタンドでしました》

葛飾小で障がい者理解体験教室

2017年10月2日(月)に船橋市立葛飾小学校(船橋市印内1-2-1)で障がい者理解体験教室が開催されました。

今回は、4年生222人が対象で、車いす体験と視覚障がい体験を行いました。ご協力いただいたボランティアの方々は、車椅子レクダンス協会(矢車草)11名、葛飾地区社協ボランティア5名、夏見地区社協1名、船橋ボランティアセンタースタッフ1名と千葉YMCAスタッフ2名の20名でした。



《車いす体験の様子です》



《視覚障がい体験の様子です》

この体験をした小学生の感想文です。原文のひらがなを漢字に替えて読みやすくしてあります。

私は初めて車いすに乗ってみました。カーブやマット(土・草)がとても大変でした。段差はとても難しくて、できませんでした。「車いすの操作はこんなに難しんだ!」と思いました。

視覚障がいの体験は、上も下も見えなくて、とても怖かったです。付き添いの人が助けてくれなくちゃ歩けませんでした。

ダンスでは、簡単なダンスで、車いすの人でもできていたのに、リハビリにもなると聞いてビックリしました。ありがとうございました。

【4年生女子】

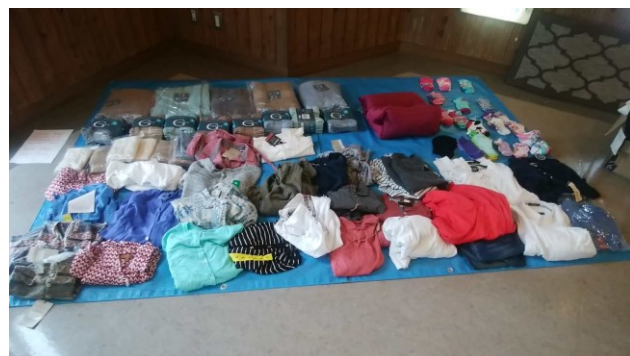
秋のわいわいフェスティバル

10月29日(日)に千葉県長生郡長柄町にある「千葉市少年自然の家」で開かれた“秋のわいわいフェスティバル”に、出店しました。

今年も、自然の家の倉庫にあった企業からの寄贈品が大量にあり、雨にも関わらずお客様が多く訪れてくださり売上は67,200円と去年に比べ3万円も増えました。今年は、全額を千葉YMCAのポジティブネットこども基金に寄付しました。



《今年は建物の中でお店を開きました》



《こういう物を売りました》

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの9月、10月の活動記録です。

- ・9月11日(月) チャリティーラン事務局会
- ・9月16日(土) チャリティーラン実行委員会
- ・9月19日(火) 千葉YMCA常議員会
- ・10月2日(月) 葛飾小障がい者理解体験教室
- ・10月10日(火) チャリティーラン事務局会
- ・10月14日(土) チャリティーラン実行委員会
- ・10月21日(土) 第20回チャリティーラン
- ・10月29日(日) 秋のわいわいフェスティバル

編集後記

今年のチャリティーランは小雨でしたが無事開催できて感謝、感謝です。(槇)